

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	法人本部開催の身体拘束廃止委員会に参加し、常日頃から拘束が行なわれていないか確認し身体拘束がないよう努めている。拘束の具体的な行為についても新人研修や、職員研修会等で学ぶ機会を設け、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する勉強等の記録や資料をいつでも活用できるようきちんと作成する。	資料や記録物をきちんと見やすいように作成し活用できるように努める。	12ヶ月
2	6	権利擁護に関する制度についていつでも触れることが出来るようにパンフレットなどを常備している。成年後見制度についても同様に資料を閲覧できるように配置し、スタッフがいつでも学ぶことが出来るように研鑽に努めている。	権利擁護に関する勉強等の記録や資料をいつでも活用できるようきちんと作成する。	資料や記録物をきちんと見やすいように作成し活用できるように努める。	12ヶ月
3	10	法人代表者及び管理者は全職員に対して日頃よりご利用者様の尊厳を守ることを教育している。カンファレンスでも一人ひとりの尊厳を大切にされた個別ケアが行なわれているか確認している。人権フェスティバルなどの紹介を行い、参加をするように促している。	人権に関する勉強等の記録や資料をいつでも活用できるようきちんと作成する。	資料や記録物をきちんと見やすいように作成し活用できるように努める。	12ヶ月
4	1	『地域のために 地域とともに』の法人理念を職員研修会で全員で共有している。また、ご利用者様が認知症があっても住み慣れた地域で尊厳のある生活を過ごしていただけるよう「家庭的な雰囲気の中で、その人らしさを尊重し思いやりを持って寄り添います」という事業所理念を掲げ、支援するよう心がけている。	事業所独自の理念を作る。	事情所独自の理念を職員で話し合い理念を作り、職員全員が理念を共有するように努める。	12ヶ月
5	16	定期的に防火訓練を行い、消防署にも立ち会って頂き防火訓練を開催することが出来た。運営推進会議で地域の方に避難協力の依頼をする共に場合によっては避難所としても利用していただけるよう声かけしている。災害時マニュアルと緊急連絡簿を設けている。	消防署との合同避難訓練に併せ運営推進会議等を通し、地域住民の方々にも参加していただく。また、備蓄品の量や保管場所も消防署の指示に従い整備する。	地域住民に避難訓練に参加していただけるよう今後も運営推進会議で案内や、回覧板でお知らせする。また、備蓄品については法人内でも検討し消防署の指示に従い整備する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。